

定食屋「雑」

著者名： 原田ひ香
出版社： 双葉社

真面目でしっかり者の沙也加は、丁寧な暮らしで生活を彩り、健康的な手料理で夫を支えていたある日、突然夫から離婚を切り出される。理由を隠す夫の浮気を疑い、頻りに夫が立ち寄る定食屋「雑」を偵察することに。大雑把で濃い味付けの料理を出すその店には、愛想のない接客で一人店を切り盛りする老女「そうさん」がいた。沙也加はひょんなことから、この定食屋「雑」でアルバイトをすることになり——。個性も年齢も立場も違う女たちが、それぞれの明日を切り開く勇気に胸を打たれる。ベストセラー作家が贈る心温まる定食屋物語。

六月のぶりぶりぎっちょう

著者名： 万城目学
出版社： 文藝春秋

新直木賞作家、日本史最大のミステリ——「本能寺の変」に挑む
奇妙、珍妙、でも感動！ マキメ・ワールド最高潮!!
その死体は信長——密室殺人事件に巻き込まれた私は、うっかり本能寺の変の謎に挑んでしまう……。

洛中女子寮ライフ——14回生以上との噂のある、女子寮の“お局様”の正体は!?

古本食堂 新装開店

著者名： 原田ひ香
出版社： 角川春樹事務所

さみしい時もうれしい時も本はいつだって、寄りそってくれる。
大ロングセラー『古本食堂』が満を持して、新装開店。
美味しいごはんとあなたの物語がここに！
珊瑚（70代）は急逝した兄の跡を継いで、神保町で小さな古書店を営んでいる。親戚の美希喜（20代）が右腕だ。
作家志望の悩める青年や、老母のために昭和に発行された婦人雑誌を探している中年女性など、いろいろなお客さんがやって来る。
てんぷら、うなぎ、カレー……神保町の美味しい食と思いやり深い人々、人生を楽しく豊かにしてくれる本の魅力が沢山つまった極上の物語。

“それはダイヤモンド・プリンセス号から始まった！”

著者名： 黒岩 祐治
出版社： IDP出版

神奈川県から始まった新型コロナウイルスへの取り組み。
何もかもが初めての経験だった 250 日間に及ぶ
“チーム神奈川”の綿密な行動記録からコロナ禍を読み解く！

首木の民

著者名： 誉田哲也
出版社： 双葉社

大学の客員教授、久和が窃盗と公務執行妨害の容疑で逮捕された。運転する車の中から、血の付いた他人の財布が発見されたのだ。久和は内閣府が設置する経済財政諮問会議に参加したこともある経済政策通だが、警視庁志村署の佐久間に対し「公務員を信用していない」と言い、取調べは進まなかった。一方、財布の持ち主を捜していた志村署の中田は、フリーライターの菊池に行き着く。菊池は交通事故を探っていたが、その事故には財務省のある人物が絡んでいた。

メンヘラの精神構造

著者名： 加藤 諦三
出版社： PHP研究所

メンヘラとは、メンタルヘルスを略した言葉に由来する。人は成長の過程で、心理的課題を解決しながら生きている。子供の頃から両親をはじめ周囲から否定された経験を重ね、問題をどう乗り越えるかを考え、人生で何度も経験する葛藤と戦ううちに自分の長所、固有の素晴らしさに気づく。
しかし、その葛藤を避けて解決しようとせず、それゆえに人間関係のあらゆる場面で問題を起こす人たちがいる。本書はこのメンヘラと呼ばれる人びとの精神構造に焦点を当てることで、「誰もわかってくれない」という心理の根本にある被害者意識とナルシズムを分析、解説する。

家族解散まで千キロメートル

著者名： 浅倉 秋成
出版社： KADOKAWA

実家に暮らす29歳の喜佐周（きさ・めぐる）。古びた実家を取り壊して、両親は住みやすいマンションへ転居、姉は結婚し、周は独立することに。引越越し3日前、いつも通りいない父を除いた家族全員で片づけをしていたところ、不審な箱が見つかる。中にはニュースで流れた【青森の神社から盗まれたご神体】にそっくりのものが。「いつつも親父のせいでこういう馬鹿なことが起こるんだ！」理由は不明だが、父が神社から持ってきてしまったらしい。返却して許しを請うため、ご神体を車に乗せて青森へ出発する一同。しかし道中、周はいくつかの違和感に気づく。なぜ父はご神体など持ち帰ったのか。そもそも父は本当に犯人なのか——？

美食の教養

著者名： 浜田 岳文
出版社： ダイヤモンド社

世界一の美食家が教える、食の新常識。コスパに振り回されない外食思考法、店選び、食べ方、哲学、歴史、シェフの仕事術まで。

風に訊け 空也十番勝負（七）

著者名： 佐伯 泰英
出版社： 文藝春秋

七番勝負は新たな武者修行者の登場で幕を開ける。老爺、愛鷹とともに旅を続けるひとりの武芸者。安芸広島藩の重臣の息子で、間宮一刀流の達人でもあるその男は、江戸を訪れた折に、自ら同様に命を賭して武者修行の旅を続ける空也の存在を知る。己と空也はいつの日か相まみえると確信し、旅を続けるが……。

おこん春曆 新居眠り磐音

著者名： 佐伯 泰英
出版社： 文藝春秋

「今小町」と呼ばれ、「居眠り磐音」シリーズの中でも屈指の人気キャラクター、おこんの若き日。十四歳の江戸っ娘が、自らの道を切りひらく。

母を亡くしたばかりで、父親の金兵衛と二人で暮らす十四歳のおこん。その長屋にある日、下野国から訳ありの侍・曾我蔵之助夫婦が幼子を連れて流れ着いた。実の姉のように接してくれる女房の達子を慕うおこん。だが彼らには江戸でやらなければいけないことがあった――。

つかめ！理科ダマン 6 みんなが実験に夢中！編

著者名： 原案：シン・テフン
出版社： マガジンハウス

ギャグ満載の超オモシロまんがで
小学校の理科の知識がスイスイ身につく！！
そして、科学と読書がどんどん好きになる！！
《こんな疑問に答えます》
◎いろいろな玉のなかから鉄球だけを集める方法は？
◎静電気でどうして起こるの？
◎果実がおいしい理由は？
◎氷でお湯がわかせるの？
◎寒いとどうして体がふるえるの？
◎針金が氷を通過する？ ……etc.
☆巻末には「科学クイズ」もついています！

ようかいとりものちょう乙 古都怨霊篇参 十六夜双鬼が血に笑う

著者名： 大崎 悌造
出版社： 岩崎書店

八咫烏を打ち破ったコン七だが、その後の五右衛門との闘いで倒れてしまった。倒れたコン七は無事なのか？

瑞玖が探し求める三種の妖器「宝剣・勾玉・魔鏡」の秘密とは？
そして新たな敵、多々羅左右膳とは！？
絶好調の古都怨霊篇、いよいよ佳境！

ようかいとりものちょう乙 古都怨霊篇肆 七尾の炎狐が邪を祓う

著者名： 大崎 悌造
出版社： 岩崎書店

怒髪雷音撃を放ち多々羅左右膳を倒すも、瑞玖のかぎ爪に撃たれた五右衛門は無事なのか？コン七は五右衛門を残し、最後の三種の妖器である「魔鏡」を求め天狗山に向かう！

おしりたんてい あらたなる かいとう

著者名： トロル
出版社： ポプラ社

かいとうアカデミーに新たなかいとうが現れた。彼のミッションは、世の中を「かわいい」で支配している会社SUANAから、彼らがごまかし、ため込んでいる莫大な売上金を盗むこと。しかしSUANAのセキュリティはかたく、かいとうたちは、苦戦をしながらも会社の内部までたどり着くが……。

もうじきたべられるぼく

著者名： はせがわゆうじ
出版社： 中央公論新社

「うんめい」を受け入れた子牛の「ぼく」が、さいごにしたかったことは――

静かで優しく、切ないけれど愛に満ちた物語。

読み終えたとき、きっと、あなたの「いただきます」が、変わります。

ミラクルラブリー 感動のどうぶつ物語

著者名： 編青空 純
出版社： 西東社

大人気のミラクルお話シリーズ! 「もっと読みたい!」というリクエストにこたえて、お話シリーズ第三弾! 胸キュンしちゃう動物たちとのラブリーな物語から涙がキラリの超感動ストーリーまで、特大ボリュームの34話を収録!